

狛江市シティセールスプラン実施計画  
【平成 30 年度実施報告】

令和 元 年 6 月

狛江市

# 狛江市シティセールスプラン実施計画

## 【平成 30 年度実施報告】

### 目次

---

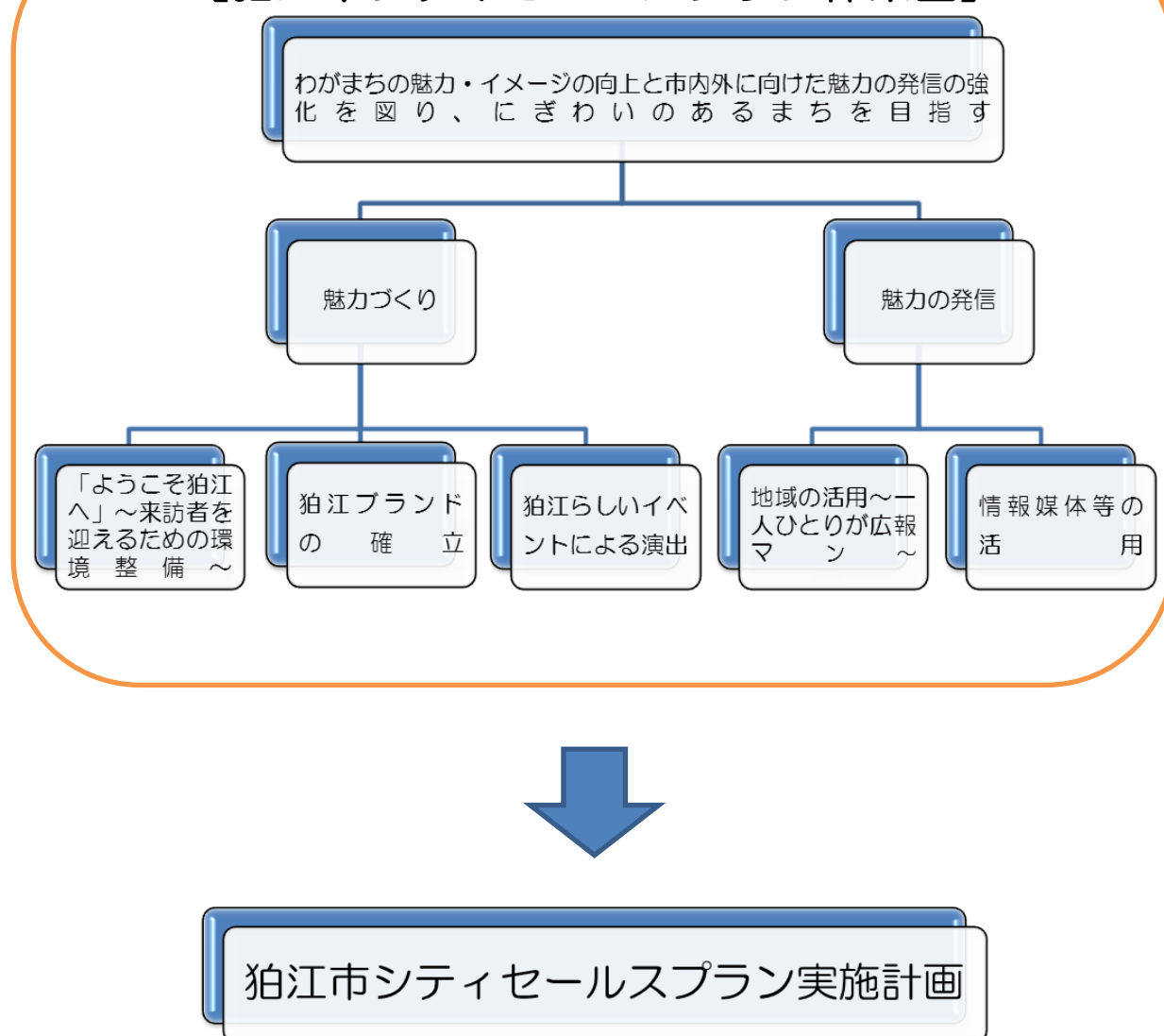
1. 実施報告について	1
2. 事業内容	
(1) 事業一覧	2
(2) 実施事業	4
3. 資料編	34

# 1. 実施報告について

平成 26 年 4 月に策定した「狛江市シティセールスプラン」は、市におけるシティセールス推進の基本方針であることから、シティセールスに向けた各種事業の実施・推進における具体的な計画として「狛江市シティセールスプラン実施計画」を策定しています。

「狛江市シティセールスプラン実施計画」では、「狛江市シティセールスプラン」で掲げられた 5 つの体系図について、それぞれ取り組むべき事業を示しています。これらの事業の平成 30 年度における取組状況について、実施報告として取りまとめました。

## 【狛江市シティセールスプラン体系図】



## 2. 事業内容

### (1) 事業一覧

本実施計画では、シティセールスを推進していくために核となる事業を「重点事業」(表1)、その他の事業を「個別事業」(表2)と位置付けています。

重点事業では、シティセールスを推進していくために、必要な「交流人口の増加」、狛江市に人を呼び込み、にぎわいのあるまちを目指すために核となる事業を掲載しています。

また、個別事業では、来訪者を迎えるための環境整備や情報発信の強化などに取り組むことにより、様々な角度からシティセールスを推進しています。

本実施計画で取り組む重点事業及び個別事業の一覧は以下のとおりです。

表1 重点事業

項番	事業名
1	こまえ桜まつり
2	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 プレフェス・ア・コマエ
3	狛江古代カップ多摩川いかだレース
4	花火大会
5	市民まつり
6	多摩川流域郷土芸能フェスティバル
7	こまえ初春まつり
8	オリンピック・パラリンピック等推進事業

表2 個別事業

項番	事業名
「ようこそ狛江へ」～来訪者を迎えるための環境整備～	
1	案内の充実
2	狛江の魅力発見事業
3	ふるさと納税の返礼品を通じた市のPR
4	こまえの自然・生きもの観察事業
5	河川環境向上事業
6	多摩川利活用の推進
7	音楽事業
8	絵手紙事業
9	プレーパーク事業

狛江ブランドの確立	
10	狛江ブランド農産物のPR事業
11	日本一安心で安全なまち推進事業
12	水と緑のまち
狛江らしいイベントによる演出	
13	フォトコンテストによる魅力づくり
14	ふれあい農業の推進
15	枝豆PR
16	狛江駅前のにぎわいの創出
17	こまエコまつり
地域の活用～一人ひとりが広報マン～	
18	友好交流都市や災害協定を結んでいる都市との交流の促進
19	キャラクターの活用
20	観光大使の活用
21	民間企業等との連携の強化
22	学生とのシティセールス事業
情報媒体等の活用	
23	観光などの魅力を発信するホームページの充実
24	SNSの活用
25	子育てサイト等の活用
26	撮影支援事業の拡充
27	新たな広告媒体の拡充
28	パブリシティの活用

## (2) 実施事業

本実施計画で取り組む重点事業及び個別事業の取組状況等を示します。  
重点事業及び個別事業は、主管組織を中心として全庁的に取り組みます。

### 重点事業

事業番号 1

事業名	こまえ桜まつり	主管組織	秘書広報室 地域活性課 社会教育課
取組概要	市内にある多摩川土手の五本松付近・六郷さくら通り・根川さくら通り等の桜並木の素晴らしさを市民には改めて、来訪者には新たに知ってもらうため、にぎわいの演出等の創出を行う。		

#### 【平成 30 年度の主な取組状況】

市民による実行委員会を組織し、市民と行政が一体となって、第4回こまえ桜まつりを4月1日（日）に開催し、3万2,000人の来場があった。ストリートダンスやパラスポーツ「ポッチャ」体験等、にぎわいを創出することができた。また、ふるさと友好都市「新潟県長岡市川口地域」や住民交流友好都市「山梨県小菅村」からの出店のほか、災害時相互応援協定締結都市である、静岡県三島市のほか、市内団体・福祉団体からも出店があった。

なお、狛江市立古民家園（むいから民家園）では「古民家園でも桜まつり」と題して、ミニ工作や昔あそび体験等を実施したほか、桜まつり前日の夕方に能楽鑑賞会を実施した。

今後も春を代表するイベントとして定着させるために周知活動を行い、更に動画やSNSを効果的に活用し、狛江の魅力の発信に取り組んでいく。



第4回こまえ桜まつり

事業番号 2

取組名	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 プレフェス・ア・コマエ	主管組織	地域活性課
取組概要	世界最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018」(L F J)のプレイベントとして「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 プレフェス・ア・コマエ」を開催し、高度な水準のクラシック音楽に気軽に楽しめる機会を提供し、来場者に音楽と食を楽しんでもらう。		

※ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018・・・フランス・ナントで誕生したクラシック音楽祭の日本版で、東京国際フォーラムで開催される音楽イベント

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

4月28日(土)・29日(日)にエコルマホールを中心として開催した、「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 プレフェス・ア・コマエ」は音楽の演奏に加え市内の飲食店が出店した。天候にも恵まれ4会場合計で約1万4,000人の来場があった。



ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 プレフェス・ア・コマエ

事業番号 3

取組名	狛江古代カップ多摩川いかだレース	主管組織	地域活性課
取組概要	貴重な観光資源である多摩川を活用した「いかだレース」を通して、市のPRを行うとともに、流域自治体との交流の場となるような取組を実施していく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

7月15日(日)に第28回多摩川いかだレースを開催した。平成30年度に実施した「多摩川流域自治体交流イベントラリー」(狛江市、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市、大田区、奥多摩町、川崎市、小菅村、丹波山村、福生市)の一環として位置づけることで、広範囲から集客することができ、約1万人もの来場があった。また、5度目となる「こまえ産枝豆ビアガーデン」をゴール地点会場で開催した。



狛江古代カップ多摩川いかだレース大会



事業番号 4

取組名	花火大会	主管組織	地域活性課
取組概要	狛江の景勝地である多摩川において、4年振りとなる花火大会を実施することにより、市民の連携と心のふれあいを図るとともに、市民をはじめとする来場者に憩いの場を提供する。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

8月8日（水）に開催を予定していた「平成 30 年度 狛江・多摩川花火大会」は台風 13 号接近の影響から中止となったが、翌年の開催への期待の声が多く寄せられたことから、11 月に実行委員会を立ち上げ、関係機関との調整を図るなどし、令和元年 8 月 7 日（水）の「令和元年 狛江・多摩川花火大会」開催に向けて準備を進めた。



狛江市民花火大会での打上花火（平成 27 年度実施）

事業番号 5

取組名	市民まつり	主管組織	地域活性課
取組概要	毎年継続している粕江市最大のイベント・祭りであることから、更なる充実を図るための取組を検討する。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

11月18日(日)に開催された第42回粕江市民まつりは、天候にも恵まれ、主催者発表で約7万4,000人の来場者となった。5会場を回る「キャラクタースタンプラリー」等、幅広い年代の方が楽しめるイベントを盛り込み、多彩な内容で大いに盛り上がった。

また、例年通りふるさと友好都市「新潟県長岡市川口地域」や住民交流友好都市「山梨県小菅村」のほか、災害時相互応援協定締結都市である静岡県三島市、宮城県石巻市、山梨県上野原市からも出店していただき、広域的な連携を図ることができた。



第42回粕江市民まつり

事業番号 6

取組名	多摩川流域郷土芸能フェスティバル	主管組織	地域活性課 政策室
取組概要	多摩川流域における地域に根付いている郷土芸能の交流イベントであり、他自治体と連携した重要な事業と位置づけている。多摩川流域物産展を同時開催することにより、今後も連携を深めていく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

多摩川流域の9自治体（狛江市、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市、奥多摩町、小菅村、丹波山村）によって12月9日（日）に多摩川流域郷土芸能フェスティバルを開催した。また、参加自治体の協力を得て同時開催している第4回多摩川流域物産展を狛江駅前のメビウス∞えきまえ広場で開催することにより、多くの人に地域の物産に触れていただく機会を創出した。



多摩川流域郷土芸能フェスティバル

事業番号 7

取組名	こまえ初春まつり	主管組織	秘書広報室 安心安全課 地域活性課 社会教育課
取組概要	毎年1月の第2日曜日に、市内3カ所で開催されていた多摩川ロードレース、狛江市消防団出初式、どんど焼を1つの会場に集約し、更に食べる・遊ぶの要素を取り入れて、多くの来場者が見込める狛江の冬の重点イベントとして位置づける。		

**【平成30年度の主な取組状況】**

第5回こまえ初春まつりを平成31年1月13日（日）に開催し、1万5,000人が来場した。福祉団体による飲食の提供、観光協会による花火大会やオリンピック・パラリンピック等のPRブースが参加し、にぎわいを創出することができた。告知のポスターやチラシを小田急線の駅構内に設置していただく等、市内外へのPRの充実を図った。

また、狛江市立古民家園（むいから民家園）では、「古民家園でも初春まつり」と題して、まゆ玉飾りや、羽根つき、コマなど、正月らしい昔あそび等の体験事業を行った。



どんど焼

事業番号 8

取組名	オリンピック・パラリンピック等推進事業	主管組織	政策室 社会教育課
取組概要	スポーツを通じて東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ 2019 に向けた気運の醸成を図る。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

大会に向けての気運醸成及び関連施策を推進するため、カウントダウンボードを設置するとともに、市民まつりやこまえ初春まつり等、集客力のあるイベントにおいて、パラリンピック体験事業「NO LIMITS CHALLENGE」（東京都主催）・各種 PR ブースを実施したほかオリンピック開幕約 500 日前にあわせて狛江市パラスポーツ体験イベントを実施する等、プロジェクトチームを活用しながら各種事業を展開した。また、多様な主体と連携して地域の気運醸成を図っていくため、2つの市民団体と行政提案型市民協働事業を実施するとともに、広域的な取組として、国分寺市との合同のスポーツイベントを実施した。

市内の小・中学校全校がオリンピック・パラリンピック教育推進校として、ボランティアアマインド、障がい者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚等の醸成を図るための取組を行った。小学校では年間を通じて世界の料理を給食の献立に取り入れ気運の醸成を図った。

また、狛江第三小学校、緑野小学校、狛江第三中学校においては、オリンピック・パラリンピック教育アワード校として、オリンピック・パラリンピック教育を一層推進するための取組を行った。

その他、スポーツを通じた取組では、ストリートラグビー体験イベント、ラグビールール講習会、ブラインドサッカー体験研修会、講演会等を実施し、スポーツを通じた交流人口の増加や障がい者スポーツの普及・理解促進を図った。



こまえ初春まつりでの「NO LIMITS CHALLENGE」



## 個別事業

### ■「ようこそ狛江へ」～来訪者を迎えるための環境整備～

市外からの来訪者を迎えるため、おもてなしの準備をします。狛江市には、魅力的な自然や風景、伝統・文化に根ざした地域の行事、独自性を活かした活動等がたくさんあります。それらを市外からの来訪者へ分かりやすく、狛江の見どころが分かるように環境を整備し、また、お客様を迎えるための市民の意識の向上を図る事業です。

事業番号 1

取組名	案内の充実	主管組織	秘書広報室 政策室
取組概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市内外からの来訪者を迎えるための案内の充実を図る。		

#### 【平成 30 年度の主な取組状況】

狛江市の玄関口である狛江駅前三角地について、駅前のにぎわいの創出を目的とした広場として、「メビウス∞えきまえ広場」という名称で4月1日に新たな開設を迎え、イベント等のお知らせができるデジタルサイネージ、インターネット環境の整備としてWi-Fiの設置及びスマートフォン等を充電できるソーラースタンドの整備を行った。

また、外国人おもてなし語学ボランティアの育成講座や東京 2020 大会に向けたボランティア講座 in 狛江市を実施する等、訪問者への環境整備を行った。



メビウス∞えきまえ広場

事業番号 2

取組名	狛江の魅力発見事業	主管組織	市史編さん室 社会教育課 公民館
取組概要	自分が住んでいるまちの歴史や文化財等の地域資源、地域の魅力を知ってもらい、自分が住むまちへの愛着を深めてもらうとともに、まちのセールスポイントについて考えてもらう機会を提供する。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

10～11 月にかけて実施される東京文化財ウィークにあわせて、「狛江の魅力を学ぼう」と題して狛江に残る古墳に関する講座、市内の古墳を見学して歩く文化財めぐり、平成 30 年度の遺跡調査で出土した遺物の展示等を行った。その他、子ども向けにガイドブックを作成し、市内の小学校 6 年生を対象に出前講座を行ったほか、むいから民家園では小学校 3 年生を対象とする体験学習を行った。さらに、猪方小川塚古墳の保存整備工事に着手した。

引き続き、令和 2 年度に「新狛江市史」を刊行することを目指して、市史編さん事業を進め、「市史研究」第 6 号、「新狛江市史 資料編 絵図・地図」、「新狛江市史 資料編 近現代 4」、「新狛江市史民俗調査報告書 5 寛東の民俗」、「新狛江市史関連考古学調査報告書 1 狛江の板碑」、「新狛江市史関連考古学調査報告書 2 泉龍寺の位牌」等の書籍を刊行したほか、市史関連講演会、古文書講座を実施した。

事業番号 3

取組名	ふるさと納税の返礼品を通じた市のPR	主管組織		課税課	
取組概要	ふるさと納税の仕組みを使って、特定のテーマに沿った寄附金を集める。また、インターネットを活用し、クレジット決済を可能とするとともに、返礼品を送付する。				

### 【平成 30 年度の主な取組状況】

都内初の野菜収穫体験を、年2回（6月・11月）シルバー人材センターの協力により、実施し、狛江の野菜と触れ合うことを通して、大人から子どもまで狛江の魅力を知ってもらうことができた。

狛江独自の生産工程管理手法による狛江ブランド農産物の提供を継続して行った。

引き続きインターネット上で寄附の申し込みから入金までを可能とし、手続きの利便性を高めることにより、寄附者の裾野を広げた。

※農業生産工程管理（GAP）・・・作付けから収穫までを事前に設定したチェックリストで正確な実施・記録・点検及び評価を行い、それを持続的に改善し、安心して安全な農産物を生産していくもの



ふるさと納税の返礼品（狛江ブランド農産物）



事業番号 4

取組名	こまへの自然・生きもの観察事業	主管組織	環境政策課
取組概要	多摩川や野川等、市内を代表する自然観察スポットに生息する生きものや植物を紹介し、また、生きもの調査会や自然観察会の実施等を通じて粕江の自然に親しむことのできる機会を提供し、市の環境に親しみをもってもらおう。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

昨年度に引き続き、多摩川統一清掃で「多摩川生きものブース」を設置するとともに市の環境に関する取組事業を紹介し、市内の生物に関する情報発信を行った。また、近年市内でも目撃情報や生活被害を出しているアライグマ・ハクビシンのほか製等を展示し、市で実施しているアライグマ・ハクビシン防除事業の周知・啓発を図った。

生きもの調査会は野川及び多摩川で夏季・冬季の2回ずつ実施した。また、多摩川河川敷の外来種対策の一環として、粕江水辺の楽校と連携し、アレチウリ駆除活動を実施した。

また、生物多様性地域戦略の策定に向けて、環境保全審議会等で検討を行った。また、粕江の生きもの情報を多くの市民からの情報提供・活動協力のもとで把握するため、こまえ生きもの探検隊を実施するとともに、市民が生物多様性とは何かを考えるきっかけづくりを目的とした市民参加型モデル・プロジェクト事業を1回実施した。

平成 29 年 10 月の台風第 21 号の影響で市民の環境学習の場である粕江水辺の楽校が甚大な被害にあったため、市・市民団体・市民と協働し、粕江水辺の楽校の清掃を1回行った（平成 29 年度は2回実施）。

事業番号 5

取組名	河川環境向上事業	主管組織	環境政策課
取組概要	多摩川や野川の河川環境向上のため、市民・学校・事業者・地域団体・行政等が連携して美化清掃活動を行い、自然環境の保全を進め、粕江の魅力づくりに努める。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

多摩川統一清掃及び野川美化清掃活動を実施した。多摩川統一清掃では清掃活動のほか「多摩川生きものブース」を設け、自然環境の保全に向けた啓発活動を実施した。

事業番号 6

取組名	多摩川利活用の推進	主管組織	環境政策課
取組概要	市の貴重な環境資源である多摩川を活用したまちづくりを推進するため、多摩川利活用実施計画に基づき、「駐車場試験運用」、「ドッグラン試験運用」等の様々な施策を進めていく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

多摩川利活用実施計画に基づき、「駐車場試験運用」、「ドッグラン試験運用」、等を実施した。また、ドッグラン及び駐車場の今後、その他の利活用について市民の意見を聞き、今後の利活用を検討する際の参考とするため、多摩川利活用推進フォーラムを開催した。平成 29 年度に実施した保水性舗装の効果検証を行った。



多摩川河川敷ドッグラン

事業番号 7

取組名	音楽事業	主管組織	地域活性課
取組概要	狛江駅北口での駅前ライブやシンボルコンサート等のPRを更に進め、多くの人が参加できる音楽事業を推進する。		

※シンボルコンサート・・・「音楽の街ー狛江」で実施する総合音楽イベント。毎年テーマを決めて実施し、主に狛江市に縁のある演奏者が出演する。

#### 【平成 30 年度の主な取組状況】

駅前ライブや市役所ロビーコンサートを実施するとともに、シンボルコンサートであるこまえ文化フェスティバルでは「音で紡ぐ舞の世界」と題し、「舞踊」をテーマに音楽で踊りの表現をすることにも挑戦した。また新たな試みとしてハプンアーティスト駅前ライブ及び議場コンサートを実施した。



議場コンサート

事業番号 8

取組名	絵手紙事業	主管組織	地域活性課
取組概要	絵手紙が盛んな狛江市において、絵手紙ギャラリー等の拡充を通じ、来訪者の増加を図る。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

ふらっと立ち寄って、無料で絵手紙をかくことのできる「絵手紙ひろば」を継続するとともに、5回連続講座を実施し、「絵手紙ひろば」で絵手紙に親しんだ方のレベルアップを図った。

事業番号 9

取組名	プレーパーク事業	主管組織	児童青少年課
取組概要	大人も子どもも楽しめるプレーパークづくりを目指すことにより、地域の中で子どもを育む環境づくりを推進するとともに、市内外を問わず参加者の増加を図る。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

毎週月曜日から水曜日と土曜日又は日曜日の週4回開催し来場者は延べ1万 1,593 人。月1回程度イベントを開催したほか、地域連絡会を開催し、狛江プレーパークについて話し合いを行った。



プレーパークで遊ぶ子どもたち

## ■ 狛江ブランドの確立

狛江市では、シティセールスのためのブランドとして「狛江野菜」、「小さいまち」、「水と緑のまち」の3つを取り上げ、市内外にこれらを広くPRし、各種事業等とも組み合わせることで、狛江市全体の魅力を高めることを目指します。

事業番号 10

取組名	狛江ブランド農産物のPR事業	主管組織	地域活性課
取組概要	都内で初めてとなる狛江独自の生産工程管理手法を活用した狛江ブランド農産物を推進する。また、狛江GAP研究会及びJAマイنزとも連携しながら、狛江ブランド農産物に触れる機会を増やすため、イベント等の検討を行い、ブランド農産物としての価値を高める。		

### 【平成30年度の主な取組状況】

各種イベントで狛江産野菜の直売会を行った。また、取組を広くPRするために、ふるさと納税の返礼品や、昨年度に引き続き、高齢者で免許を自主返納した方への特典として、狛江ブランド農産物を提供した。



いかだレースで狛江ブランド農産物の販売

<b>取組名</b>	日本一安心で安全なまち推進事業	<b>主管組織</b>	安心安全課
<b>取組概要</b>	狛江市は日本で2番目に小さい市であることから、小さい市ならではの特性を活かし、顔と顔の見える関係を構築することにより、日本一安心で安全なまちを目指していく。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

防災の取組については、災害対策本部や避難所等における災害対応力を強化するため、災害対策用備蓄品・備品を拡充するほか、水防訓練や避難所運営協議会と連携した総合防災訓練、災害対策本部運営訓練を実施した。

防犯の取組については、地域の防犯力を高めるため、地域に密着した事業者の協力を得て、「ながら見守り」を推進した。調布警察署管内における特殊詐欺被害を未然に防止するため、狛江市・調布市・調布警察署の三者で連携した対策を実施した。

また、こまえ安心安全情報メールによる啓発活動を行い、地域の防犯組織である防犯協会による安心安全パトロールの実施等により、更なる犯罪の抑制を図った。

これらの取組の成果として、平成 30 年中における市内刑法犯認知件数は 378 件、人口千人あたり 4.55 件となり、いずれも都内区市で最少となった。



総合水防訓練の様子

事業番号 12

取組名	水と緑のまち	主管組織	環境政策課
取組概要	粕江市エコパートナーシップ制度や花いっぱい事業等、市民が実施している様々な環境活動を推進していき、自然と調和のとれた住環境を維持していく。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

花いっぱい事業により、公園等の管理を行っている市民団体とともに花卉植栽を実施したほか、花とみどりの即売会（春・秋）を開催する等、緑に対する市民意識の高揚を図った。

民有地内の緑化を推進していく人材の確保を目的とした園芸講習会を開催するとともに、平成 28 年度に立ち上げた「水と緑の連絡会」主体による「水と緑のパネル展」を併せて実施した。

粕江市エコパートナーシップ制度を活用し、エコパートナーに環境イベント等や講演会の案内等を行い、環境保全に取り組む市民の意識啓発を図った。



## ■ 狛江らしいイベントによる演出

魅力あるイベントは市外の方を惹きつける地域資源として効果的です。全国でも独自性のあるイベントが行われている自治体は、イベントとともに認知度も高くなっています。マラソン大会、グルメフェスティバル等のイベントには、遠方からも多くの方が足を運ぶものが多数あります。

狛江市では、多摩川河川敷等の資源を活かした狛江らしいイベントの創出・拡大により、狛江市の交流人口の増加を目指します。

事業番号 13

取組名	フォトコンテストによる魅力づくり	主管組織	地域活性課
取組概要	魅力百選のスポットや多摩川等、撮影の題材は狛江市内に多く存在することから、これらを活用したフォトコンテストを実施するとともに、入選作品を活用した小冊子の作成等、市民参加型の狛江の魅力づくりと位置づける。		

### 【平成 30 年度の主な取組状況】

平成 30 年度においては、実施を見合わせた。今後については、狛江市観光協会において実施の間隔、時期や内容について、検討を行っていく。

事業番号 14

取組名	ふれあい農業の推進	主管組織	地域活性課
取組概要	都市農業の強みを活かした狛江らしい農業体験活動として、(収穫の時期等) 一日農業体験等を実施し、市民が気軽に農業に触れることができるイベントを奨励する。		

### 【平成 30 年度の主な取組状況】

J A マインズ青壮年部が主催する農業食育ラリーを 7 月 7 日 (土) に実施し、数カ所の農家を訪れて実際に収穫体験をしていただき、更に参加者には地場野菜を使った食事を提供することで、農業への関心を高める事業を実施した。



農業食育ラリーの様子



事業番号 15

取組名	枝豆 PR	主管組織	地域活性課
取組概要	市の形が枝豆に似ていることや、市内で枝豆の生産を行っている農家が多いこと、その他、こまえ子育てねっとでえだまめ王子をキャラクターとする等、市の PR に枝豆を活用していることから、枝豆を活用した既存イベントの支援等を通して枝豆の PR を行う。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

昨年度に引き続き、いかだレースの際にこまえ産枝豆ビアガーデンを実施、また、狛江市都市農政推進協議会の主催による狛江市役所市民ひろばで実施した「えだまめまつり」等の枝豆を活用したイベントの支援を行うことで PR を行った。



えだまめまつりの様子

事業番号 16

取組名	狛江駅前のにぎわいの創出	主管組織	政策室 地域活性課 社会教育課 環境政策課
取組概要	市の中心部であるメビウス∞えきまえ広場や弁財天池特別緑地保全地区、泉龍寺等、自然、歴史が凝縮されたロケーションを活かして、駅前一帯を使ったにぎわいのある事業を検討する。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

狛江市の玄関口である狛江駅前三角地について、駅前のにぎわいの創出を目的とした広場として、平成 30 年 4 月 1 日に新たに開設した。また、メビウス∞えきまえ広場におけるネーミングライツを活用した取組として、ネーミングライツスポンサーによるイルミネーションを実施することにより、駅前のにぎわいの創出を図った。さらに、こまえ桜まつりや市民まつり等のイベントに合わせ、弁財天池緑地保全地区の臨時開放を実施した。

メビウス∞えきまえ広場においては、5月にみんなで輪を作ろう、7月に狛江市打ち水大作戦 2018、10月にくらしフェスタこまえ、11月に市民まつりの会場のひとつとしてラグビーフェス、12月に多摩川流域物産展、平成 31 年 3 月にパラスポーツ体験など様々なイベントが実施され、狛江駅前のにぎわいの創出に寄与した。

事業番号 17

取組名	こまエコまつり	主管組織	環境政策課
取組概要	環境月間に行われていたイベントを平成 26 年度から「こまエコまつり」と名称を付け、イベントに対する愛着や親しみを持っていただくとともに、花苗や苗木の配布、講演会等を実施し、事業者の協力を得ながら環境教育を実施していく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

6 月 3 日（日）に開催したこまエコまつりは、花苗や苗木の配布、講演会等を継続的に実施したほか、こまえ生きもの探検隊のキックオフイベントや、リユース食器を活用した飲食店の出店等を更に拡大し、来場者の増を目指したことや、体験型のコンテンツを増やす等により、1 日を通じて来場者が環境について楽しく学べるイベントとして展開し、約 1,500 人の来場があった。

## ■地域の活用～一人ひとりが広報マン～

人・地域に着目して、人的な側面からの情報発信に取り組んでいきます。

また、シティセールスにあたっては、狛江を愛する市民一人ひとりが様々な場面で狛江市をPRすることが最も大きな効果を生みます。この視点を大事にしながら取り組んでいきます。

事業番号 18

<b>取組名</b>	友好交流都市や災害協定を結んでいる都市との交流の促進	<b>主管組織</b>	安心安全課 地域活性課
<b>取組概要</b>	狛江市と交流のある都市との人的・物的交流を促進し、友好・災害協定都市等と連携した食の祭典や、友好・災害協定都市等におけるイベント等で狛江市のPR活動を実施する等、顔と顔の見える関係を構築する。		

### 【平成30年度の主な取組状況】

狛江市民まつりにおいて、ふるさと友好都市「新潟県長岡市川口地域」や住民交流友好都市「山梨県小菅村」からの出店、災害時における相互応援に関する協定を締結している静岡県三島市、宮城県石巻市、山梨県上野原市からも出店があった。また、狛江古代カップ多摩川いかだレースにおいては、川口地域、小菅村からレースの参加・出店に加え、三島市からも出店があり、交流が図られた。こまえ桜まつりにおいても川口地域、小菅村や三島市から出店があった。

狛江市の総合防災訓練には世田谷区から参加・視察していただき、狛江市からは静岡県三島市の防災訓練に参加した。また、石巻市の防災センター、防災フェア2019を視察したほか、石巻市とその災害時相互応援協定締結市である兵庫県芦屋市との間で、インターネットを用いた子ども防災サミット2018を実施し、相互に連携を深めた。

<p>取組名</p>	<p>キャラクターの活用</p>	<p>主管組織</p>	<p>秘書広報室 地域活性課 子育て支援課 環境政策課 道路交通課</p>
<p>取組概要</p>	<p>市内外へ市の魅力を発信していくためにキャラクターを効果的に活用していく。</p>		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

環境マスコットキャラクター「えこまさん」の着ぐるみを活用して、各種イベントへ参加し、啓発を行った。

また、こまバスに親しみを持ってもらえるように作成したこまバスキャラクターのグッズを、運行開始 10 周年のイベントや交通安全教室等のイベント等で配布することにより、こまバスを周知する等積極的にキャラクターを活用した。

さらに、こまなび電子版のキャラクターである「水と緑のぶりこま」、こまえ子育てねっとのキャラクターである「えだまめ王子」をはじめ、多くのキャラクターを市の刊行物や事業等で使用し、市のPRを図った。



えだまめ王子

取組名	観光大使の活用	主管組織	秘書広報室
取組概要	観光大使の活用により、市の魅力の発信や、市の知名度の向上等のシティセールス活動に協力してもらう。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

狛江市観光大使である近藤春菜さんの協力を得て、狛江市職員採用案内及び暮らしの便利帳に PR メッセージ、成人式において動画によるメッセージ等をいただき、シティセールス活動ご協力いただいた。

また、民放のテレビ番組やラジオ等で、近藤春菜さんが狛江市の観光大使であると紹介され、狛江の魅力を PR していただいた。

**音楽を通して心豊かに**  
音楽の街-狛江

こまおちゃん

「音楽の街-狛江 エコルマ企画委員会」が中心となり、狛江駅前での野外ライブや市役所でのロビーコンサート、小中学校での学校公演等を行い、気軽に音楽と触れ合える環境づくりを目指しています。音楽を身近に感じることができると、ぜひ足を運んでみてください。また、市内で開催されるイベントのスケジュールは「音楽の街-狛江」ホームページ (<http://enkom.e.jp/>) で見るることができます。

QRコード

**こま文化フェスティバル**  
「音楽の街-狛江」のシンボルコンサート。毎年テーマを変え、エコルマホールから狛江ならではの音楽文化を発信。これまでのテーマは「東西古典(クラシック)」「音楽画」「狛江で想くメジャー」「舞」と幅広いジャンルに挑戦し、さまざまな角度から音楽のたのしみを広げています。

**駅前ライブ**  
狛江駅北口の清水前スナックでの野外ライブ。狛江弁天池特別緑地保護地区の竹林をバックに、普段はなかなか聴くことのできないブロードアーティストの音楽や公募アーティストの演奏など、誰でも音楽に参加できる環境づくりを目指しています。

**狛江ってこんなところ**  
アートを楽しむ

**「音楽の街-狛江」構想**  
市内には見どころ、遊びどころがいっぱいありますね!

**目的**  
音楽を通して心豊かな狛江を育み、魅力ある街を目指す

**音楽のたのしみ**  
1 聴こう! ~音楽を聴くたのしみ~  
2 演奏しよう! ~音楽を演奏するたのしみ~  
3 知ろう! ~音楽を知るたのしみ~  
プラス! 音楽の輪を広げよう!  
~3つのたのしみで広がる音楽の輪~

**市の歌「水と緑のまち」**  
市の歌「水と緑のまち」は、平成52年に制定されました。市長の皆さんに広く知ってもらうために、平成29年10月からは防災行政無線で、平成25年9月からはNTT音線放送機の音声案内や放送機、ホール内の音楽としても流れています。

**狛江トリビア**  
市役所でコンサート  
「音楽の街-狛江」の活動の一つとして、「後!」ロビーでのコンサートを毎年3~4回開催しています。誰でも聴ける「後!」だからこそ、コンサートに人が集まりたいと希望する方も、プロの音楽家が選曲する良質な音楽に気軽に触れることができます。

狛江市観光大使  
ハリセンボン 近藤春菜さん

暮らしの便利帳の狛江市観光大使  
近藤春菜さんの PR メッセージ



取組名	民間企業等との連携の強化	主管組織	秘書広報室 政策室
取組概要	小田急電鉄等民間企業等との連携を強化して、市内外に向けて情報発信の強化を図っていく。		

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

小田急電鉄とは顔と顔の見える関係を強化し、こまえ桜まつりや初春まつり等のイベントPRに協力いただいた。

読売巨人軍とスポーツを通じた相互協力に関する協定を平成 30 年 1 月に締結し、ジャイアンツ球場でのイースタン・リーグ公式戦において「狛江市民デー」の開催や、ジャイアンツ所属選手が市内の小学校を訪問する等、連携したイベントを実施した。

その他、健康増進に関する協定を締結している大塚製薬とは、熱中症予防、健康長寿推進、食育推進、スポーツ等様々な事業で協力をいただいた。



ジャイアンツ球場で「狛江市民デー」を開催

取組名	学生とのシティセールス事業	主管組織	秘書広報室 政策室
取組概要	イベントのボランティア募集等、積極的に市から大学へ呼びかけを行うことにより、大学生の地域参加を促し、また大学生の若い視点や情報発信・拡散力（ツイッター、フェイスブック等のSNS）を利用したシティセールスを展開していく。		

※SNS（Social Networking Service）・・・インターネット上で相互交流が可能な社会的ネットワークを構築するサービス

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

大学生の若い視点や情報発信力を活用するため、市民まつりやこまえ桜まつり等のイベントに大学や高校の学生に参加してもらった。



市民まつりでの大学生ボランティア

## ■情報媒体等の活用

情報技術や広報誌等、物的な側面に着目した情報発信に取り組んでいきます。また、情報発信の媒体の活用にあたっては、情報としての価値を見極め、情報発信の目的・タイミング等、その時の最適な媒体を選択して発信します。

事業番号 23

取組名	観光等の魅力を発信するホームページの充実	主管組織	地域活性課
取組概要	市内の魅力的なお店やイベント情報を掲載する狛江市観光協会のホームページを充実することにより、市の魅力のアップに繋げていく。		

### 【平成30年度の主な取組状況】

狛江市観光協会の公式ホームページの内容を充実させるため、「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2018 プレフェス・ア・コマエ」、「狛江・多摩川花火大会」等の狛江市観光協会が主催する事業や関係事業の紹介ページ、狛江産野菜の紹介ページ等を作成し、市の魅力を発信した。



狛江市観光協会公式サイト



事業番号 24

取組名	SNS の活用	主管組織	秘書広報室
取組概要	市内外に情報を発信していくために、ツイッターやフェイスブック等のSNSによるイベントや魅力の発信の強化を図る。また、リアルタイムでの情報発信も強化していく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

イベント等を周知するためにSNSを活用して効果的にPRしたほか、新たにInstagramの粕江市公式アカウントを開設し情報発信を強化した。また、タブレット端末を用いて、主要なイベントについてはSNSを活用し、写真や動画をリアルタイムで配信した。また、台風が接近した際の天候情報等、市民の関心のある情報を配信した。

事業番号 25

取組名	子育てサイト等の活用	主管組織	子育て支援課
取組概要	子育てサイトやツイッターを活用し、子育て中の方に対して子育てに関する各種情報やイベント等の情報を発信することで粕江の魅力を積極的に発信していく。		

【平成 30 年度の主な取組状況】

リニューアルした子育てサイトやツイッターを積極的に活用して、子育て関連事業やこまえ桜まつり等、市のイベントの周知を図った。

取組名	撮影支援事業の拡充	主管組織	地域活性課
取組概要	<p>狛江市観光協会内に、CM・ドラマ・映画等の撮影支援事業を行う狛江ロケーションサービスを平成27年に立ち上げ、多くのロケを誘致することで、ロケによる地域の振興につなげるとともに、市への愛着と魅力の発信を図る。</p>		

**【平成30年度の主な取組状況】**

調布市、日の出町と2市1町による連携事業を開始し、狛江市においては撮影隊を招いてロケハンツアーを行ったり、関係者（観光協会、商工会、市関係部署）向けにロケツーリズムに関するシンポジウム等を行った。

また、撮影環境を充実させるため、ボランティア・エキストラ制度の運用を開始した。さらに、事業をPRするため、狛江市暮らしの便利帳に掲載したり、ロケーションサービスのロゴを作成した。平成30年度は95件の撮影が行われ、これまで同様、公共施設や河川敷が中心であるが、民間施設の割合も増加している。



狛江ロケーションサービス ロゴマーク

事業番号 27

取組名	新たな広報媒体の拡充	主管組織	秘書広報室
取組概要	狛江の魅力やイベント等をデジタルサイネージ、YouTube 等の新たな広報媒体を活用して発信していくほか、民間企業等と協力した情報発信も行っていく。		

※YouTube・・・Google 社が運営するインターネット上の動画共有サービスで、インターネット動画配信により国内のみならず海外に向けた情報発信もできる。

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

狛江市を紹介するPR動画や、花火大会のクラウドファンディングを呼び掛ける動画等を作成し、YouTube の狛江市公式チャンネルや SNS で提供することで狛江の魅力を発信することができた。

また、小田急電鉄広報紙「ODAKYU VOICE」等、民間企業が発行・運営している情報誌や、インターネットサイトで市内の様子やイベントが紹介されたことにより、狛江市の魅力を市内外に広くアピールすることができた。

ガイドドリンコ株式会社と連携して、4月にメビウス<sup>∞</sup>えきまえ広場にデジタルサイネージを設置し、情報発信の強化を図った。

事業番号 28

取組名	パブリシティの活用	主管組織	秘書広報室
取組概要	マスコミの発信力を最大限に活用し、市の魅力を効果的かつ効率的にアピールする。イベントの後援を依頼する等、マスコミとの連携を強化し、効果的な広報活動を展開していく。		

※パブリシティ・・・PR活動の一種で、情報を積極的にマスコミに提供し、メディアを通して多くの人に知れ渡るよう働きかける広報活動

**【平成 30 年度の主な取組状況】**

報道機関への情報提供を積極的に行うため、研修等を実施し、各主管課における情報発信力の推進を図った。

ジャイアンツ球場での「狛江市民デー」や市内での各種イベント等がマスコミに取り上げられ、市の取組や認知度の向上に繋がった。また、テレビ番組の企画に市が全面的に協力し、市が紹介されたほか、市の知名度の向上と魅力のPRを図ることができた。

### 3. 資料編

#### ■ 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会委員名簿

役職	氏名	職名
委員長	杉田 剛	企画財政部秘書広報室長
副委員長	片岡 晋一	市民生活部地域活性課長
委員	田部井 則人	企画財政部政策室長
	立道 雅央	総務部危機管理担当理事兼安心安全課長
	小川 正美	福祉保健部福祉相談課長
	銀林 悠	児童青少年部子育て支援課長
	植木 崇晴	環境部環境政策課長
	三宅 哲	都市建設部まちづくり推進課長
	白鳥 幹明	教育部社会教育課長
第5条第4項に基づく職員	菊野 長正	企画財政部政策室オリンピック・パラリンピック等推進担当主幹

※令和元年6月現在

#### ■ 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会の設置及び運営に関する要綱 (平成26年要綱第110号)

(目的)

第1条 この要綱は、狛江市シティセールスプラン（以下「プラン」という。）を推進するため、狛江市シティセールス推進庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) プランを推進するための事業の検討及び進行管理に関すること。
- (2) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる課又は室（以下「課等」という。）の課長職にある者をもって構成する。

- (1) 秘書広報室
- (2) 政策室
- (3) 安心安全課
- (4) 地域活性課
- (5) 福祉相談課
- (6) 子育て支援課
- (7) 環境政策課
- (8) まちづくり推進課
- (9) 社会教育課
- (10) その他検討にあたり必要となった課  
(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を各1人置く。

- 2 委員長は、秘書広報室長をもって充て、副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。  
(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(シティセールス庁内検討部会の設置)

第6条 委員会は、所掌事項の検討にあたり、必要があるときは、シティセールス庁内検討部会(以下「部会」という。)を設置することができる。

- 2 部会は、原則として、第3条各号に掲げる課等の係長職(係長を置かない主管課においては、主査)にある者で委員長が必要と認める者をもって構成する。
- 3 部会に部会長を置き、部会員の互選によってこれを定める。
- 4 前条の規定は、部会において準用する。この場合において、「委員会」とあるのは、「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(庶務)

第7条 委員会及び部会の庶務は、企画財政部秘書広報室において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び部会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、公布の日から施行する。

登録番号 H31-19

狛江市シティセールスプラン実施計画  
(平成30年度実施報告)

令和元年6月発行

発行 狛江市  
編集 狛江市企画財政部秘書広報室  
狛江市和泉本町一丁目1番5号  
電話 03(3430)1111(代表)  
印刷 庁内印刷  
頒布価格 50円